

山本みちよ通信



第36号 発行：山本みちよ議員会 発行責任者：岩田公博



令和2年第3回定例会が閉会

令和2年第3回立川市議会定例会が、9月4日から10月1日までの会期で開かれました。

新型コロナウイルス感染症への市独自の支援策を盛り込んだ補正予算など市長提出議案17件、委員会提出議案1件、議員提出議案5件を慎重に審議し、すべての議案が可決・承認・認定されました。山本みちよ議員は本会議にて一般質問に立ち、①誰もが安心していきいきと暮らせる立川のまちづくりを目指して②若葉町のまちづくり・今後の課題についての大きく2項目について質疑・提案を行ったほか、決算特別委員会委員として決算審査も精力的に行いました。



新たな立川市独自の新型コロナ支援策

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ■立川市PCR検査センターの設置 | ■中小事業者緊急支援金 |
| ■新生児臨時特別定額給付金（仮称） | ■地域経済活性化キャンペーン事業 |
| ■ファーストバースデー・多胎児家庭支援事業 | ■電子図書館サービスの導入 |
| ■介護・障害福祉サービス事業者緊急支援事業給付金 | ほか |

市のお金はどんなことに使われているの？

平成31年度一般会計繰出決算額を1万円札に換算すると
（）内は約半額

議会費 60円 (±0円) 市議会の運営など	総務費 1,260円 (±0円) 住民票交付、交通安全、典説招待など	民生費 4,960円 (±30円) 子育て、障害・高齢福祉など
衛生費 710円 (±20円) 予防接種、環境対策、ごみ収集など	労働・農林・商工費 90円 (±0円) 仕事支援、農畜工芸振興、観光など	土木費 620円 (±40円) 道路、公園、住宅整備、立ち入りなど
消防費 290円 (±0円) 消防、防災など	教育費 1,420円 (±80円) 学校、図書館、体育施設、幼稚園など	公債費 490円 (±60円) 借金の返済
歳出合計 10,000円		

山本みちよ議員の一般質問より（要旨）

質問 少子高齢化に加え、新しい生活様式のなかで進めていく地域共生社会の在り方、立川市の目指す地域包括ケアシステムについて問う。

答弁 地域には、多様なニーズを持つ住民が暮らしており、複合化・複雑化した課題への対応が求められている。市民の困りごとを包括的に受け止める支援相談支援体制を構築していく。

質問 断らない支援、「まるごと相談」の窓口となる相談支援包括化推進員の配置を複数体制にしてはどうか。また、親しみやすい愛称をつけてはどうか。

答弁 関係機関と協議した取り組みの中で検討していく。愛称については関係者の意見を伺ながら検討する。

質問 身体・知的・精神障害や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援・情報提供を行う窓口となる基幹相談支援センターの早期設置が必要ではないか。

答弁 第6次障害者計画では、基幹相談支援センターの設置検討が示されている。本年7月に開始した地域生活支援拠点等事業の状況を見ながら検討する。

質問 感覚障害者と通話相手である患者を通訳オペレーターがつなぐ電話リレーサービスが、令和3年度から、公共インフラとしての整備に入る。導入にあたり健常者の理解・協力が欠かせないことから理解促進のための周知を求める。

答弁 地方自治体は事業の周知を行う必要があり、国の動向を注視し、関係団体・関係者及び一般市民への周知に努める。

その他

- ・タクシー費用の助成事業について
- ・障害児・者の口腔ケア及び歯科診療体制について
- ・手話言語条例の制定について
- ・若葉台小学校移転後の園校舎活用について
- ・五日市街道・「若葉町団地入口」交差点の右折レーン設置について
※若葉台小学校移転後も体育馆等は災害時の一次避難所となるため、インフラ整備の日常的な点検・整備をおこなうよう求めました。

KOMEI TOPIC 公明党全国大会を開催 ～ポストコロナ時代の新たな社会を～

公明党は9月27日に第13回全国大会を開催。
党代表に山口那津男代表が再任、新たに石井啓一幹事長・
竹内謙政副幹事長が就任しました。
あいさつで山口代表は、コロナ禍の克服に総力を挙げると
強調した上で、「希望と安心の新時代を担う決意で前進を」と
と参加者に呼び掛けました。



山口代表(左)と石井幹事長(右)

文化芸術支援の緊急要望書を市長へ提出

超党派の市議で組織する立川文化芸術振興議員連盟（会長：山本みちよ議員）は、新型コロナの影響を大きく受けている文化芸術の支援を求める緊急要望書を取りまとめ、3月3日に清水庄平市長へ提出しました。



新型コロナウイルス感染症対策に全力!!

—コロナ禍から市民を守る 公明党立川市議団の実績が実現—

《立川市PCR検査センターの開設》

今後の新型コロナウイルスの感染拡大に対し、感染の疑いがある市民が検査を受けやすい体制を整えるため、市は立川市PCR検査センターを9月に開設。かかりつけ医等を受診して検査が必要とされた場合、医師の予約により検査を受けることができます。

《図書除菌機の導入》

市民の衛生意識が高まる中、安全安心な図書館サービスとして、除菌やホコリの除去ができる図書除菌機が、7月に市内図書館へ導入されました。

公明党立川市議団が訴え 実現した主な政策

暮らし/福祉

- 立川市PCR検査センターの設置
- 国保料の値上げ見送り
- 障害者就労支援等における在宅支援の適応適用
- 福祉サービス事業者へ緊急支援給付金 など

事業者

- 中小事業者の家賃支援
- 国の助成金等の相談支援
- 中小事業者車両燃焼・固定資産にかかる緊急支援
- 商店街(組)の感染予防対策に係る経費支援 など

子育て/教育

- ひとり親世帯に臨時給付金
- 電子図書館サービスの導入
- 多胎児家庭の検診の際のタクシー費用助成
- 修学援助世帯に臨時休校中の給食費支給
- 小中学校に液体石鹼配置、蛇口をレバー式に
- 小中学校へ1人1台パソコンの整備

行政/防災

- 市内感染者の情報開示
- 感染の期末手当を削減
- 避難所にマスクや消毒液などの衛生用品を整備
- 市長自らメッセージ発信、議団に手話・字幕を導入など

粗大ごみインターネット受付が開始！



10月1日より粗大ごみの収集申込みがインターネットでもできるようになりました。これまで、電話受付時間帯にかけられない、駄がりづらい等のお声があつた事から早期導入を訴えてきました。

小中学校体育館にエアコンを設置！

災害時の避難所となる学校体育館に、空調機設置が完了しました。昨今の猛暑から子どもや避難者の健康を守るため、公明党は都議会で補助制度創設を推進。市議団は制度を活用して空調機を設置するよう緊急要望などで市長に求めました。



子どもインフルエンザ予防接種に助成！



今年度より子どものインフルエンザ予防接種費用の一割が助成されます。対象は小学校6年生以下で、指定医療機関での会計時に1,500円が差し引かれます。予防接種費用が家計の負担となっているとのお声を受け、予算要望などで助成事業の創設を訴えてきました。

65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種が無料に！！

立川市では、今年度に限り65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種が無料で受けすることができます。期間は令和2年10月1日から令和3年1月31日まで。予防接種実施医療機関一覧にある指定医療機関で受けられます。

街路灯・園内灯のLED化が完了！



明るく、経費削減にもなる街路灯等のLED化が7月末で完了。公明党は一昨年1万8千筆の署名を市長へ提出し、議会の場で導入を求めてきました。経費削減分で、停電時でも点灯する街路灯が一部に設置されました。



皆様のお声をお聞かせください
立川市議会議員 山本みちよ

TEL/FAX 042-937-2886
メール yamamoto.michyo@tachi-tan.jp
ホームページ www.tachi-tan.jp/~yamamoto/

山本みちよ

横断

公明新聞購読のご案内
ひと月 1,887円

政治経済はもちろんより、生活・文化など読み応えのあるタイムリーな情報がいっさいの公明新聞。ぜひご購読を！お申し込みは山本みちよまで。